

1. 日時：平成30年12月25日(火) 14:00~17:00
2. 場所：徳島大学理工学部理工学科社会基盤デザインコース 建設棟3階303室
3. 出席者：橋本，塚越，吉田，横手，森澤，渡部，新居，森本，牛尾，徳永，原田，堀井，岸本，高橋，横井，中川，氏家，金滝，田中，栗栖，オブザーバー参加：古田 (敬称略，順不同) 以上 21名
4. 配布資料
 - 2-0：議事次第
 - 2-1：委員会名簿 (2018年11月26日現在)
 - 2-2：第1回コンクリートの品質向上を目指した CUS 利用普及のための技術研究委員会議事録 (案)
 - 2-3：四国内の銅スラグ細骨材を用いたコンクリートの普及状況に関するアンケート実施報告 (橋本委員長)
 - 2-4：銅スラグ(CUS)コンクリートの利用拡大のための2次ヒアリングのお願い (案) および二次ヒアリング回答票 (案)，一次ヒアリングの解答内容への再質問 (石井委員/吉田委員)
 - 2-5-1：AE法ならびに各種非破壊試験による CUS コンクリートの品質の評価 (橋本委員長)
 - 2-5-2：各種スラグ骨材を用いたハイボリュームフライアッシュ重量コンクリートに関する研究 (横井委員)
 - 2-5-3：銅スラグ細骨材とフライアッシュの混合使用効果 (堀井委員)
 - 2-5-4：銅・マンガンスラグ細骨材およびフライアッシュを用いたコンクリートの乾燥収縮ひび割れ抵抗性 (氏家委員/河合委員)
 - 2-5-5：2018高知県東部生コンクリート協同組合の CUS を使った実験の長さ変化試験結果について (森澤委員)
5. 議事
 - 1) 配布資料の確認および委員長挨拶
橋本委員長から，一次ヒアリングが無事されたことが報告され，関係者に感謝の言葉が述べられた。
 - 2) 新委員自己紹介
第2回委員会より新たに出席された委員より簡単な自己紹介があった。(資料2-1)
 - 3) 第1回委員会議事録(案)の確認
塚越幹事長より，資料2-2の第1回委員会議事録(案)が通読された後，承認された。
 - 4) 1次アンケート実施報告
資料2-3を用いて，橋本委員長より，実施したアンケート内容についての説明があった。
 - 5) 2次ヒアリングの内容について
資料2-4を用いて，吉田委員よりヒアリングの回答表の内容について説明の後，一部文言を修正し各工場へ郵送することが承認された。
 - 6) 高知県で2018年度に行った CUS コンクリートの実験結果の1例
資料2-5-5を用いて，森澤委員より説明があった。
 - 7) 大学・高専で CUS を用いた研究に関する中間報告
 - 7-1) CUS 使用がブリーディングに及ぼす影響
資料2-5-1を用いて，橋本委員長より説明があった。
 - 7-2) 産業副産物 (CUS, MNG, FA) を利用した重量コンクリートの開発
資料2-5-2を用いて，横井委員より説明があった。
 - 7-3) CUS と FA 混和使用の効果および尿素の影響
資料2-5-3を用いて，堀井委員より説明があった。
 - 7-4) CUS やマンガンスラグ細骨材がコンクリートの乾燥収縮ひび割れ抵抗性に与える影響
資料2-5-4を用いて，氏家委員より説明があった。